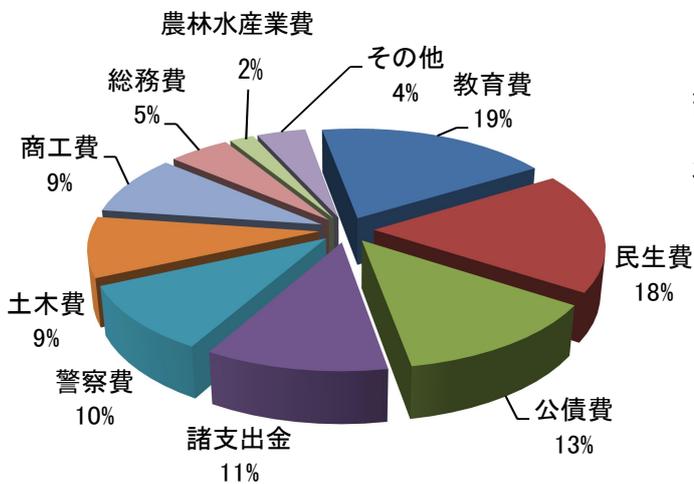


令和元年度 農林水産関係予算の概要

京都府では本年秋に策定予定の新総合計画を見据え、新しい京都の未来に向けた予算(①子育て環境日本一への挑戦、②京都力を生かした文化・スポーツ・観光振興、③京の産業の新展開、④暮らしの安心・安全の向上、⑤未来を拓くまちづくり)を編成し、予算規模は、一般会計で前年度当初予算(6月補正含む。)比2.6%増の9,040億200万円を計上しました。

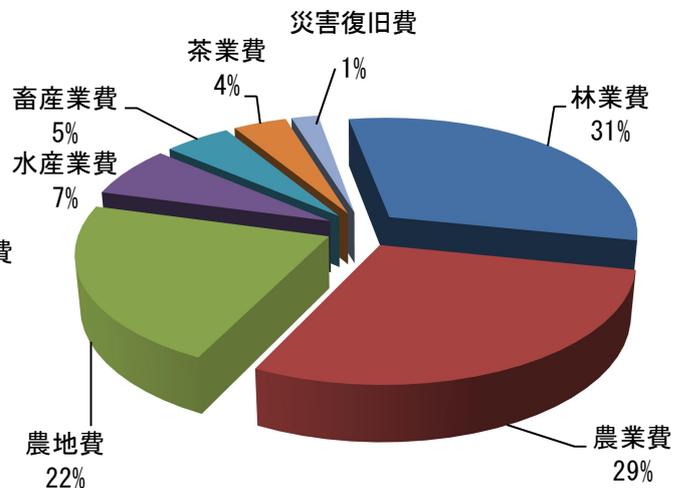
農林水産分野においても、①産業の未来づくり、②販路拡大、③地域づくり、④安心・安全の4本柱で京都府農林水産業の活力強化と農山漁村の暮らしを守るための各取組に必要な予算として一般会計で約211億円を計上しました。

〈京都府の予算〉



総額
約 9,040億円

〈農林水産関係予算の内訳〉



総額
約 211億円

〈令和元年度当初予算〉

1 農林水産業の未来づくり

〈農業の産業としての魅力づくり〉

■スマート農林水産業加速事業

【新規 2億1,200万円】

生産現場の過疎高齢化による農林水産業の生産力低下と農山漁村コミュニティの衰退に対応するため、AI・ICT等先端技術を活用したスマート技術の実装を加速化し、農林水産業の作業性・品質・生産性を向上することで、府内農林水産業の成長産業化と魅力向上、集落維持を実現する。

■アグリイノベーション創出事業

【一部新規 3,893万円】

産学官の共同研究を進めるための研究コンソーシアム形成により、革新的技術の開発と事業化を推進する。

(新)新規ブランド品目の開発やお茶の機能性に着目した調査・研究

■京都農人材育成強化事業 【一部新規 4億6,743万円】

攻めの農業への転換を図るため、オール京都体制で「京都農人材育成センター」を運営し、京の農業応援隊による技術研修などの伴走支援に加え、段階に応じた経営研修を一体的に実施することで、高度な経営感覚を持つ農人材を育成する。

(新)茶業研究所に宇治茶実践型学舎を設置し、高い栽培加工技術を持つ担い手を養成

■京都畜産未来の担い手づくり事業 【新規 400万円】

畜産の担い手が減少する中、畜産経営の法人化を進めることで対外信用力の向上や就業条件の改善を図るとともに、畜産法人等への就業や新規就農希望者を幅広く確保し、後継者として育成する仕組みを構築する。

■農と都市の共生社会実現事業 【新規 650万円】

都市農業が有する多面的機能を発揮させ、都市との共生を実現するため、相談窓口の設置による農地の流動化の促進や、体験農園の開設等による交流促進などを実施する。

■新集落営農総合対策事業 【一部新規 9,470万円】

持続可能な集落営農組織の育成に向け、多様な課題に対応した相談体制や専門家チームの派遣体制を構築するとともに、後継者の確保から経営の多角化や規模拡大まで、経営の発展段階に応じた支援を実施する。

(新)水稲栽培が中心の中北部等の集落営農組織が農業法人と連携し、京野菜生産を導入する取組等を支援

■京都農業経営強化事業 【継続 1億4,120万円】

ブランド京野菜等の生産に必要なパイプハウス・機械等の導入支援やKYO農(の)食材御用聞きによる実需ニーズの掘り起こしと産地へのマッチング支援等を実施する。

■畜産ブランド・収益力強化事業 【継続 2,366万円】

府内産和牛の高品質化及び増産を図ることで、畜産・酪農経営の収益力を強化する。

<林業の成長産業化と持続可能な森林づくり>

■新たな森林管理システム市町村支援事業 【新規 6,800万円】

本年4月から施行された森林経営管理法に基づき、市町村による新たな森林管理システム(※)が開始されることに伴い、その取組を支援する。

(※)新たな森林管理システム：森林を市町村が適正に管理するため、林業経営の適否に応じて意欲と能力のある林業経営者に委託又は市町村自ら経営管理を行うもの

■豊かな森を育てる基金積立金 【継続 6億9,600万円】

森林の多面的機能の維持及び増進を図るため、基金の積立を実施する。

「豊かな森を育てる府民税」を活用した事業一覧

(単位:千円)

事業名	事業概要	予算額	財源区分	
未来へつなぐ安心・安全の森づくり事業費	流木発生のおそれのある危険木の伐採・除去等	140,000	繰入	140,000
災害防止森林整備事業費(新規)	倒木や表土流出により人家等に被害を与えるおそれがある区域における、危険木の除去や簡易防災施設の設置等	100,000	繰入	100,000
人と森をつなぐ環境整備事業費	公共治山工事と一体的に行う府内産木材を利用した林内歩道等のアクセス整備	30,000	繰入	30,000
豊かな森づくり推進事業費	花粉の少ないスギ等の植栽等の支援、主伐後の環境林造成技術の確立等	16,140	国庫 繰入	1,125 13,890
府民参加型里山ふれあい事業費	荒廃した里山の整備を府民公募により実施	33,000	繰入	1,125 33,000

豊かな森林継承事業費	全国育樹祭を契機とし、「木材需要の喚起・消費拡大」「森を学ぶ・体験する」「次世代の育成」をテーマにイベントを開催	6,100	繰入	6,100
伝統工芸の森プロジェクト事業費	漆等の生産拠点「伝統工芸の森」の造成等	3,000	繰入	3,000
京の森林文化を守り育てる支援事業費	地域住民による社寺の森の保全など、京の森林文化を将来に伝える取組を支援	30,000	繰入	30,000
京都の木のまち拡大事業費（新規）	府の公共施設、民間の施設や住宅などにおいて、府内産木材を利用した木造化や木質化、木製品の導入等を支援	103,354	繰入	103,354
CLT普及促進事業費	CLTの設計等総合相談窓口の設置	1,000	繰入	1,000
京の森と木魅力発信事業費	林業や木の文化を発信するイベントの実施等	3,000	繰入	3,000
地域振興推進費	豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する広域振興局管内の森林・林業の特色に着目した事業の実施	10,000	繰入	10,000
小計		475,594	国庫 繰入 一財	1,125 473,344 1,125
豊かな森を育てる府民税市町村交付金	豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する市町村事業に対して交付金を交付	248,903	繰入	248,903
合計		724,497	国庫 繰入 一財	1,125 722,247 1,125

<マーケットニーズに応じた「つくり育てる漁業」の推進>

■未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業

【継続 2,270 万円】

府内産水産物の生産・流通拡大、次世代の担い手育成により漁業・漁村を活性化させる。

2 販路拡大

<京都ブランドを生かして新たな市場を開拓>

■農商工連携・ビジネス支援事業

【一部新規 7,932万円】

生産者の新たなビジネスチャレンジ支援や経営体の輸出支援（相談窓口、専門家派遣等）、ブランド力向上・流通拡大支援（新商品開発等）に加え、新たに農商工連携支援を強化することで、府内農林水産物の販路拡大を図る。

■「おいしい京都」府内戦略事業

【継続 2,501万円】

府内において、きめ細やかな消費拡大策による農林水産物の販売戦略を実施する。

■「おいしい京都」首都圏戦略事業

【一部新規 1,300万円】

メディア等の発信力が高い首都圏における京野菜等の需要拡大を図る。

■「おいしい京都」世界戦略事業

【一部新規 2,100万円】

認知度向上による需要拡大のため、海外でのフェア開催や「京もの提供店」の海外展開等販売促進活動を実施する。

（新）香港、シンガポールに続き、台湾へ展開を拡大

■宇治茶新展開セカンドステージ事業

【一部新規 400万円】

宇治茶の新たな需要の創造と海外発信を展開する。

（新）インバウンドに対応した宇治茶案内人の養成等

■林業「森世紀」創造戦略事業（販路拡大）

【一部新規 2億1,085 万円】

CLTを含めた府内産木材の利用を促進し、公共施設や民間施設等における需要を拡大するとともに、府民に対し木材利用や木の文化を発信する。

（新）府内産木材の利用を促進する住宅等向け交付金において対象等を拡大

- 「京のプレミアム米」創造事業 【一部新規 6,490万円】
国の米政策の見直しを踏まえ、オリジナル良食味米の開発、情報発信を進めるとともに、「京の米」の新たな需用を創造し、市場・販路拡大を展開する。

3 地域づくり

- 「農・観」連携地域コミュニティ応援事業 【新規 1,800万円】
野菜の収穫体験の実施等農山漁村の実りや暮らしを体験できる地域資源を磨き上げ、地域をまるごと滞在施設化する取組を支援し、地域振興を図る。
- 京都移住促進プロジェクト事業 【一部新規 2億3,843万円】
農山漁村の担い手が減少する中、新たな担い手の確保を核とした都市との共生によるまちづくりを総合的に推進し、活力ある地域を創出する。
- 農村型小規模多機能自治推進事業 【継続 1億7,934万円】
農山漁村の過疎高齢化が進む中、小規模農家も含めた農山漁村全体を守る地域活動を強化するため、外部人材の活用を含めた地域の基盤づくりや、地域資源を活用した「なりわい」づくりから企業と提携したビジネスへの発展まで一体的に支援し、トータルマネジメントを行う農山漁村コミュニティ(農村型CMO(※))の形成を支援する。
(※)農村型CMO: 地域活動と収益活動を一体的に運営する農村コミュニティ法人
- 耕作放棄地再生推進事業 【継続 1,225万円】
移住者等の営農活動や再生作業等の支援及び京都モデルファーム運動の推進により、耕作放棄地の再生・活用を促進する。
- 京都モデルフォレスト推進事業 【継続 500万円】
森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進する。
- 林業「森世紀」創造戦略事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金) 【継続 2億4,890万円】
豊かな森を育てる府民税の趣旨に合致する市町村事業に対して交付金を交付する。

4 安心・安全

<暮らしを守る>

- 森林災害防止事業 【一部新規 30億8,078万円】
平成30年台風21号による風倒木被害からの復旧と流木被害の未然防止対策を更に強化することにより、府民の安心・安全を確保する。
(新)倒木や表土流出等により人家等に被害を与えるおそれのある区域において、市町村と連携して危険木除去等防災対策を実施
- 有害鳥獣総合対策事業 【一部新規 5億5,150万円】
メスジカ等の捕獲強化や捕獲個体の処理施設の整備、防護柵の整備の支援、担い手育成等により農作物被害対策を推進する。
- 豊かな里山再生事業 【継続 2,900万円】
森林病虫害の被害を防止し、里山の再生等を推進する。

<食の安心・安全と食育の推進>

■きょうと食いく先生活動拡大・強化事業

【新規 910万円】

「きょうと食いく先生」の派遣、地域の食育支援活動、若い世代を対象とした食育出前講座の開催等により体験型食育を強化し、地域や府民の食育を推進する。

(新)大学生等を対象とした食育出前講座の開催

■食の安心・安全推進事業

【継続 200万円】

食の安心・安全行動計画改定等を踏まえ、関係部局が連携し、食品表示の監視・指導、食に関する情報発信を強化する。

平成30年度2月補正予算(国補正関係)の概要

京都府では公共事業等について、国の補正予算も積極的に活用しながら進めるために府議会2月定例会で冒頭提案を行い、平成30年度2月補正予算において、一般会計で142億15百万円を計上しました。このうち農林水産分野では21億35百万円を計上しました。

■農林水産業基盤整備事業

【継続 21億3,500万円】

ブランド京野菜などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備、防災・減災対策を実施する。